

No.153

みんなで進めよう
茨城農業改革

坂東地域アグリ通信

平成30年3月20日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

平成29年度県西地域「常陸秋そば」サミットin坂東を開催

平成30年2月28日（水），JA茨城むつみ本店において，坂東地域そば研究会と坂東地域農業改良普及センターの共催で，平成29年度県西地域「常陸秋そば」サミットin坂東を開催し，そば生産者，実需者，関係機関等，71名が参加しました。



まず，「いばらき食のアドバイザー」である藤原浩氏より，「県西地域の『常陸秋そば』の魅力発信のために～可能性と未来～」と題して講演をしていただきました。その後，普及センターより，「エイジレスを活用した玄そば保管」について情報提供を行いました。エイジレスを使用したそばと使用していないそばの食べ比べでは，大半の参加者がエイジレスを使用したそばの方が美味しいと回答し，エイジレスの効果を実感していました。

当サミットは，開催回数を重ねるごとに他産地からの参加者が増え，県内各地のそば生産者が集う会議となっています。地域を越えた生産者の連携を通じて「常陸秋そば」のブランド化が図られるよう，普及センターでは今後も産地の支援を行っていきます。

第3回農村女性講座（ハーブ石鹸作り）を開催

平成30年2月23日（金），古河市の三和農村環境改善センターにおいて，女性農業士会坂東支部と坂東地域農業改良普及センターの共催で，第3回農村女性講座（Dreamアグリカルチャー）を開催し，地域の若手女性農業者10名，女性農業士6名の計16名が参加しました。



今回の内容はハーブ石鹸作りでした。まず，講師である有限会社グリーンハウス小山の小山玲子氏より，使用するハーブ（ラベンダー）について説明がありました。その後，班に分かれて加工に取り組みました。原材料のグレインソープを細かくし，煮出したハーブと混ぜ合わせ，殺菌作用のあるはちみつや，ビタミンEが豊富に含まれるスイートアーモンドオイルも加え，肌に優しい手作り石けんになりました。最後に，小山氏が道の駅「まくらがの里 こが」で販売しているハーブティーとハーブ入りクッキーを試食しながら情報交換を行い，女性農業士と若手女性農業者がさらに交流を深めました。

参加者からは，「とても分かりやすく，楽しい講座だった。加工に興味があった」等の感想が聞かれ，大変有意義な講座となりました。

坂東普及センターでは，平成30年度も農村女性講座を開講する予定ですので，管内の若手女性農業者の方は是非ふるってご参加下さい。



農業には若さがある！

今回は、古河市の小久保 健司（こくぼ けんじ）さんをご紹介します。小久保さんは「小久保ファーム」で養鶏（採卵）を営んでおり、業者や道の駅に出荷している他、自宅前の直売所でも販売しています。また、農業青年クラブである「あぐり一揆」に所属し、後継者として活躍しています。

○どうして就農しようと思ったのですか？

26歳までは会社勤めでしたが、実家の養鶏業が忙しくなったために就農しました。20年ほど前から小売りをしていたのですが、リピーターが増えてきたこと等によって、忙しくなりました。



○農業の魅力は何ですか？

自宅前の直売所で卵を売っているのですが、買ってくださったお客様が「おいしかった、ありがとう」と言ってくれることがうれしいです。会社員だった時には得られなかった経験です。

また、1羽1羽をひよこの時から育てているので、愛着があります。日頃からストレスを与えないようにしたり、体調の悪くなりやすい季節は様子を見る頻度を増やしたりしています。丹精込めて育てた鶏たちが、卵を産み始めた時は喜びを感じます。

○今頑張っていることは何ですか？

今、若い人たちの中で、卵を1日に2個以上食べると健康に良くない、と誤解している人が多くいますが、それは違います。消費者の方々にそれを知ってもらうために、消費拡大に向けて様々な活動をしているところです。私は、茨城県養鶏協会青年部に所属しており、県庁等でキャンペーンをしたり、「マロ玉さん」というキャラを作って漫画にすることでPRしたりしています。

卵は1日に2個以上食べても問題ないのです！

○これからの目標は何ですか？

若い人にも、もっと卵を食べてほしいと考えています。そのために、プリンなど卵の加工品に挑戦して、これまでとは違った角度からお客様に提案していきたいです。

また、卵は日々食べるものなので、安全安心なものを提供していきたいです。さらに、私の家では、えさの配合等にこだわっており、今後はそういった部分をPRしてリピーターを増やし、また「ありがとう」の言葉をたくさん聞きたいと思います。



4月 土壌診断実施日のお知らせ

土づくり推進のため土壌診断を受け付けています。個人等の農家の方が対象です。

4月10日前後
4月25日前後

※4月の実施日は未定です。ご了承ください。
また、結果のご連絡には数日かかる予定です。

編集後記

親には、「卵は1日1個まで！」と言われてきました。卵1個で作るオムライスは、すこしさびしいものがありました。薄い…。

さて、4月に年度が始まってから、もう1年がたとうとしています。あっという間でした。みなさま、1年間ありがとうございました。（鹿島）